

4/28
五五

官邸も「指揮統制機能」

政府資料に明記 国家中枢が攻撃対象

穀田議員が追及

日本共産党の穀田恵一議員は27日の衆院外務委員会で、「国家安全保障戦略」ならびに改定を向けた「国防政策の整備」である「反撃能力」、「敵基地攻撃の対象とする「指揮統制機能」とは、相手国の「中枢」に留たるものだ」と指摘し、「全面戦争」につながる危険な動きだと批判しました。

穀田氏は、「指揮統制機能等」について、防衛省本省の大古和雄防衛政策局長(2007年当時)の答弁で「中央指揮所」の機能に照らし合わせ追及。「中央指揮所とは何ですか？」と質問。副大臣は「中央指揮所は、

防衛省本省、閣相官邸、國務會室に相当する相手国の大蔵省などを攻撃対象とするもので、「全面戦争」につながるのではない」と述べました。

穀田氏は、敵襲攻撃の実験とされる「指揮統制機能」とは、まさに日本で開催された事実を語るかにし、「私の質問を示しました。鬼木誠防衛大臣は認めました。

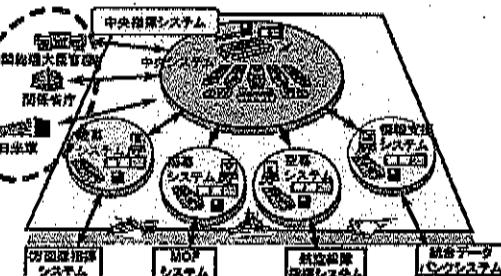
鬼木氏は、折木民也、林芳正、内閣総理大臣官邸、閣相官邸、國務會室に相当する相手

国の大蔵省を丸ごと攻撃対象とした「指揮システムの概況」と題する資料を提示。

「中央指揮システム」とは、「防衛大臣が指揮・統制を行つたためのシステム」と記載されています。鬼木氏は、「そのとおりだ」と認めました。また穀田氏が「それは「中枢」に相当するものだ」と質問。防衛省本省、閣相官邸、國務會室に相当する相手国の大蔵省などを攻撃対象とするもので、「全面戦争」につながるのではないかと述べつも、「專守防衛の考え方を維持する」との答弁を繰り返しました。

指揮システムの概況

- 中央指揮システム(CCS: Central Command System)*
防衛大臣が指揮・統制を行うためのシステム。中央システム、陸・海・空幕システム、情報支援システムの5つのシステムからなる結合システムであり、官邸、関係省庁等と連携している。本システムの主要な機能は以下のとおり。
 - ・部隊の展開状況等を把握する機能
 - ・テレビ会議等を利用したリアルタイムな相互説明機能
 - ・各種計画、命令及び報告資料の作成機能
- 海空自衛隊の主要な指揮システム
海上自衛隊の指揮官が作戦指揮を行うため、海上自衛隊においては方面艦指揮システム、海上自衛隊においてはMOPシステム(海上作戦部隊指揮統制システム)、航空自衛隊においては航空艦隊指揮システムを設置。
(注)MOPシステム: Maritime Operation Force Systemの略



穀田議員がこの資料を提出した理由は、「(元)現在、官邸閣僚室、内閣総理大臣官邸、閣相官邸、在日米大使館が連携してござる」とあります。また、「(元)現在、官邸閣僚室、内閣総理大臣官邸、閣相官邸、在日米大使館が連携してござる」とあります。

質問する穀田恵一議員=27日、衆院外務委員会



穀田議員がこの資料を提出した理由は、「(元)現在、官邸閣僚室、内閣総理大臣官邸、閣相官邸、在日米大使館が連携してござる」とあります。また、「(元)現在、官邸閣僚室、内閣総理大臣官邸、閣相官邸、在日米大使館が連携してござる」とあります。

穀田議員は、「指揮統制機能

の「中枢」との文言から、国家の「中枢」まで極端にするなど、攻撃対象が膨張しないことを強調。「専守防衛、憲法の条文真っ向から反対するのは明らかだ」と厳しく批判しました。